

経営理念：利用者の『最善の利益』を図り、地域の福祉に貢献する

保育の 1. 子どもの人格・人権を尊重し、一人ひとりの思いを大切にします 2. 子どもの発達に即した援助・保育をします

方針 3. 子どもが安心して過ごせる生活の場にします

保育目標 ◆じょうぶな身体（健康）◆たしかな考え（理性・認識）◆ゆたかな心（感性・情緒）◆よき仲間（協調性・社会性）

げんきぼ通信

2023年1月24日（火）

文責：福園 唯

本年もよろしくお願ひいたします！

年が明け、あっという間に一ヶ月が経とうとしています。寒暖の差が激しく、衣服の調整や体調管理が難しく感じます。子どもたちも咳や鼻水が出たり、冷えからか、おなかが痛くなることもあるようです。どんなに寒くても園庭でアティックやサッカーをして遊び、身体が温まってくると薄着になる子どもたち。汗の拭きとり、着替えや水分補給を促し、気温に応じて暖房器具も使用するなど、体調に気をつけながら過ごしていきたいと思います。本年もよろしくお願ひいたします。

そばうち、もちつき、凧あげ！～活動を通して思うこと～

さて、冬休みにはそばうち、もちつき、と冬の行事がありました。毎年行っているの、行事を経験してきた子たちが初めての子に教えながら活動ができました。そばも、もちも、とっても美味しく出来ました♪特にそばは「今までで一番上手にできたよね！」と子どもたちが言うほど、上手に出来上がりました。

凧あげは、とある土曜日に思いついて子どもたちに提案し、材料の買い出しに行き、作り始めました。あまり凧作りはしたことがないようで、ビニール袋で作る凧だったのですが、ビニールを切るのが難しかったり、竹ひごをつける、糸を結ぶ、絵を描く、と作業の工程がたくさんあって、完成させるまでに時間がかかりました。凧に描く絵にも子どもたち一人ひとりの個性が出ていて、見ていてとても面白かったです。完成した凧を持って「早く凧あげしたいね」「飛ぶかなあ」とワクワクしながら支所へ。すると午前中は穏やかな風が吹いていたのに、午後からは強風。せっかく作ったので凧あげをしてみました、上手く飛ぶこともあれば、強風で糸が切れて凧が飛ばされたり、友だちの糸と絡まったり、、、ハプニングだらけでした。それでも「こんなに高く凧があがったの初めてだ！」「楽しい！」との声が聞けました。「風が強すぎて怖い」と言う子もいたので、風の穏やかな日にリベンジできたらなと思います。

活動をするなかで、4月と比べると、分からないことを職員に聞くのではなく、子どもたち同士で教え合い、協力しあう姿がたくさん見られるようになってきました。「こうすればいいんじゃない？」と子どもからアドバイスされることもあります。自分たちで考えて行動する力がついてきたのだな、と嬉しく思います。しかし、やり方が分からないなど困っているときに「どうやってやるの？」「ここ教えて」と言える子と、言えない子といます。誰かが気づいて力を貸してくれることもあります、が、「教えて」と言えずに黙ったままのこともあります。助けを待つだけではなく「ここ教えて」などと自分から困っていることを伝えられるように、また、そう言いやすい環境・関係作りにも努めていきたいと思っています。

苦情・相談解決制度 本園の保育や処遇等に意見・要望がありましたら、ご遠慮なく申し出て下さい。

受付担当者 主幹保育教諭 **豊永 祥子**

解決責任者 園長 **中根 賢誠**

第三者委員 **丸田 瑞穂** (099-482-2927) **横峰 友里子** (099-474-1506) **山口 和美** (090-5473-5866)

きんぎょ



もちつき★



たこあげ!

